

## 夏の学校で3日間の熱い交流、交歓

—全国から郡上八幡に約80名の院生・学生が集う—

今年で7回目となった夏の学校を、岐阜県郡上市八幡町で8月24日から3日間開催しました。郡上八幡は三方を山に囲まれた小さな美しい旧城下町です。ちょうど郡上踊りのシーズンでまちが一番輝いているときでした。建築、住居、まちづくり関連分野で学ぶ全国各地の17の大学から大学院生、学生約80名（リピーター11人）、スタッフ11名が参加しました。「ダイブイン・踊りと水のまち—郡上八幡を探る」と題した今年の夏の学校の特徴の一つは、郡上市との協同の取り組みができたことです。

初日の午後は、保存建物でもある旧八幡町役場の2階の大広間に集まりオリエンテーション。市役所の人から「郡上八幡—まちなみ・まちづくり」と題して、地域でのまちづくりの概況説明を受けてから、2コースに分かれてまちあるきに出かけました。ほとぼしる清流の吉田川のそばで、水環境の保全などに取り組んでいる住民組織「さつきの会」の皆さんから、また職人町では町並み保全と景観形成に熱心な住民団体の方から説明を受けました。

交流会の会場では食事の後、郡上踊りの実演と講習を受け、夜になって柵形地蔵祭に参加し



ました。郡上踊りの輪に加わり、しばし軽快なリズムとしっとりした情緒のお囃子に体をゆだね、心地よい汗を流しました。

### 市民まちづくりフォーラム

#### 「まちの魅力再発見～郡上八幡の水と町家～」

2日目の午前中は、郡上市と共催した講演会「市民まちづくりフォーラム・まちの魅力再発見・郡上八幡の水と町家」に市民とともに聴講しました。長く郡上八幡の水環境調査や水縁都市づくりに携わってこられた渡部一二多摩美術大学教授による「水環境とまちづくり」と、後藤治工学院大学教授による「歴史が生きる町並みまちづくり」です。平日の午前中にもかかわらず大勢の市民が熱心に耳を傾けました。市民の参加は、学生にとっては学習の場、市民との交流の場ともなりました。

最初の講演は「水環境とまちづくり」です。渡部先生は、国内外の水辺空間のデザインサーベイを手がけていらっしゃいますが、『水縁空間・郡上八幡からのレポート』（共著、住まいの図書館出版局）の著書もあります。先生自身の水辺空間への関心の広がりや、水路や水空間と生活利用にかかわるさまざまな調査研究の成果をお話いただきました。とくに郡上八幡の水環境については、30年近くかかわってこられ、今日、市民や行政の取り組みを励まし、推進し

### もくじ

夏の学校で3日間の熱い交流、交歓	海道清信	1
トピックス / 住民参加をめざした		
大阪市生野区南部地区のまちづくり	船越康亘	6
講演会 / 日本の民家を創ってきた		
技術観に立ちかえる	鈴木 有	10
西山卯三写真アーカイブス /		
1950年代の街並みシリーズ北海道編	松本 滋	14
会員だより / 住居学との出会い	宮崎陽子	15